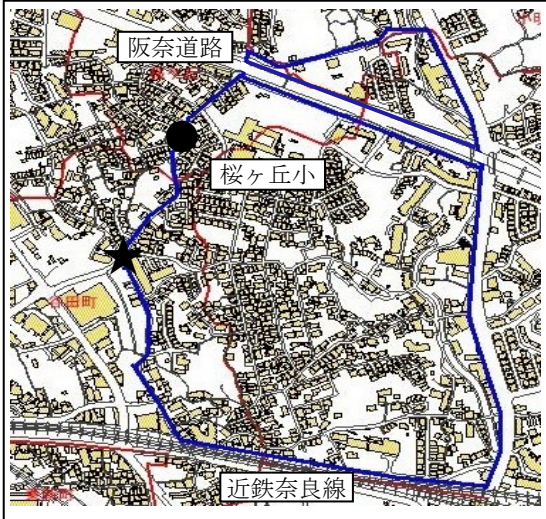





桜ヶ丘ゾーン30調査結果

桜ヶ丘小学校を中心に平成25年11月1日から「ゾーン30」を開始
平成26年8月には、実施後の区域内交通量・速度などの交通調査を、また、11月には、区域内の住民を対象にアンケート調査を行い、その結果を取りまとめました。

ゾーン30 区域図	●速度調査場所 ★交通量調査場所	整備内容
		<ul style="list-style-type: none">・規制標識・ゾーン30表示看板・ゾーン30路面表示・路側帯の緑色カラー舗装・「学童注意」の路面表示・センターラインの消去   

■交通調査（調査日時：平成25年8月22日（木）／平成26年8月21日（木） 7:00～19:00）

1 自動車平均速度（調査場所：市道谷田小明線 桜ヶ丘1504付近：上図●）

◆西向き（生駒駅方面へ） 前年比 1.53km/h減少 Δ5.32%
東向き（生駒駅から） 前年比 1.27km/h減少 Δ4.22%

◆30km/h超台数 前年比 688台 → 601台 87台減少 Δ12.6%

2 交通量（調査場所：市道谷田小明線 谷田町1277付近：上図★）

◆自動車 前年比 355台減少 Δ13.1%

◆歩行者 前年比 11人増加 1.2%

■アンケート調査

※調査実施日及び方法：平成26年11月10日～30日 送付・回収方法：郵便

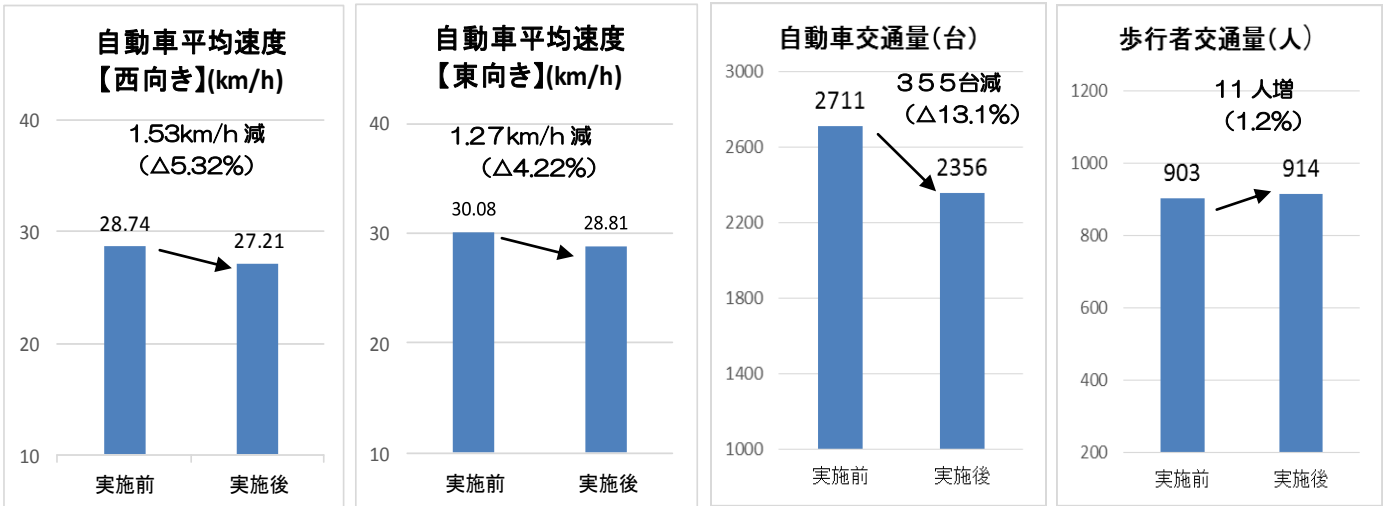
※調査対象：①区域内住民（700件／総世帯数1,396 無作為抽出）

②桜ヶ丘幼稚園長・小学校長及びPTA役員（17件） 計717件

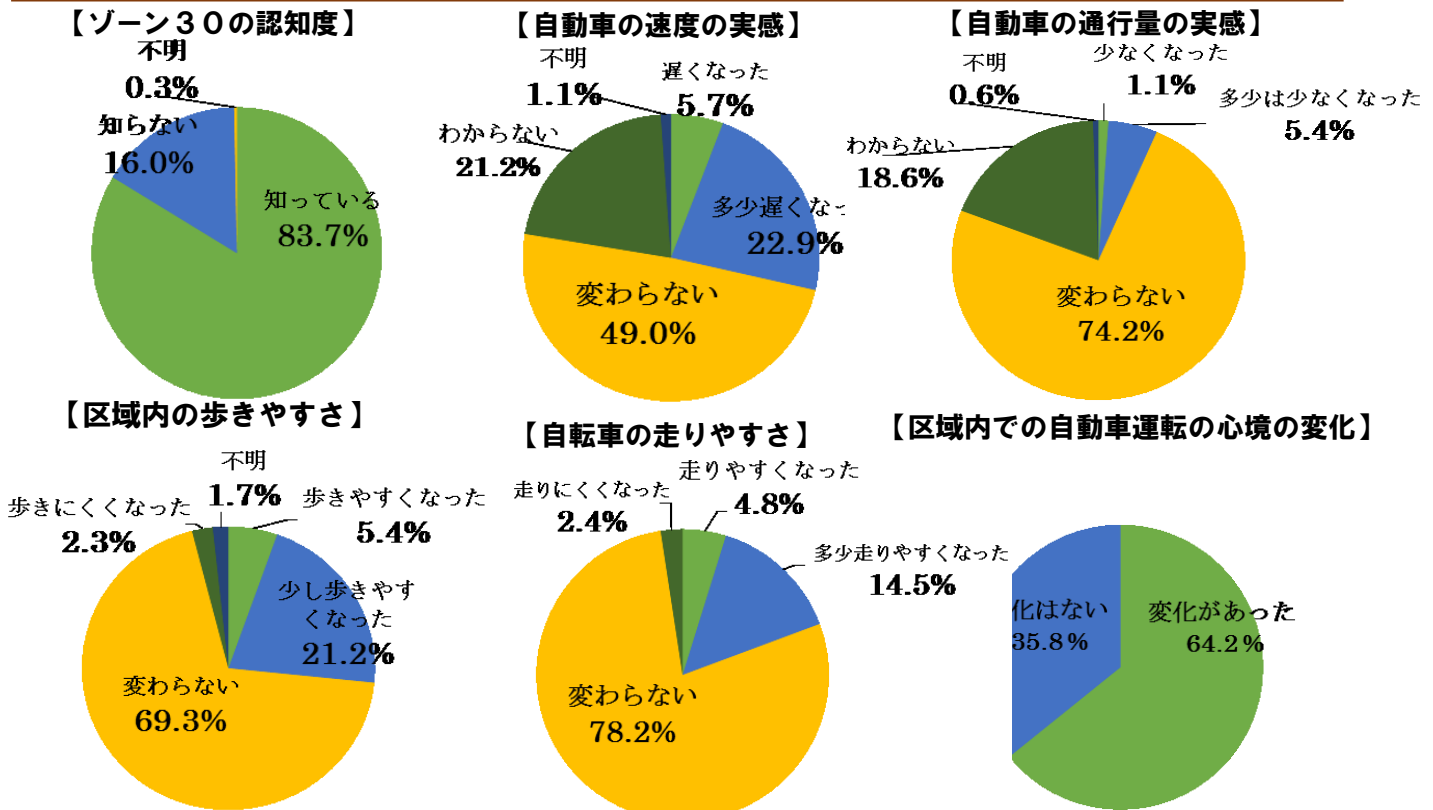
※回収状況：回答数 349件 回答率 48.7%

- ◆ゾーン30の認知度 83.7%が知っている
- ◆歩きやすさ 26.6%が以前よりも歩きやすくなったと実感
- ◆自動車速度 28.6%が以前よりも遅くなったと実感
- ◆区域内での自動車運転の心境の変化 64.2%に変化あり

ゾーン30実施前・実施後の交通状況



効果についての地域住民へのアンケート調査結果



【主な意見等】(抜粋)

【自動車運転の心境の変化】(141件)

- ・30km/h超えないように意識する
- ・カラー舗装で道幅が狭く感じる
- ・スピードを落としている
- ・路面表示が注意を引く
- ・表示を見るたび、意識が呼び起こされる

【ゾーン30への意見】(117件)

<効果についての意見>

- ・大きく表示があるので効果がある
- ・子どももこのマークがあると車に気をつける
- ・車のマナーに敏感になった

<課題についての意見>

- ・交通監視を積極的に
- ・住民への周知が浸透していない
- ・地域をこえてアピールが必要
- ・区域外の人々のマナーが悪い

【今後の課題】

調査結果から、具体的な効果が始まっていることもうかがえるが、「ゾーン30」が良い意味で当たり前として定着するには、継続した幅広い周知と啓発が必要